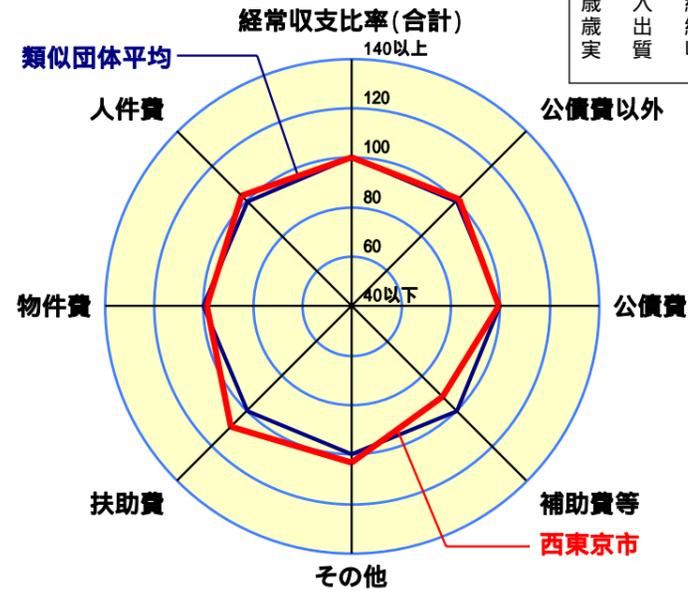
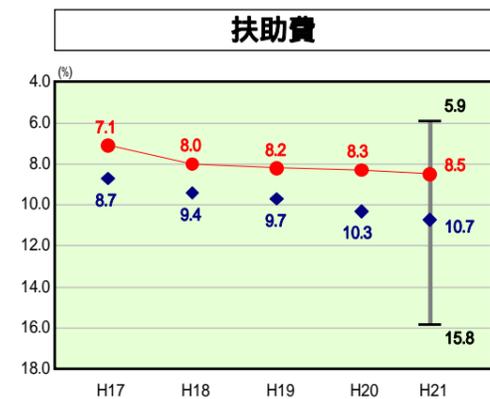
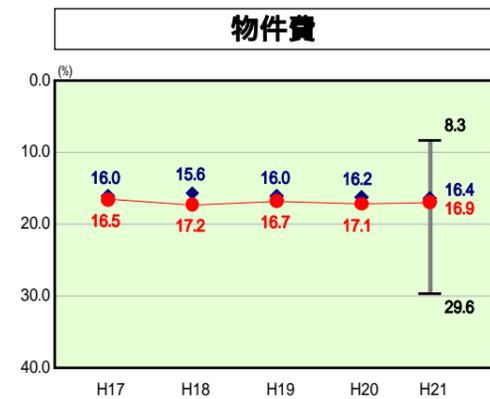
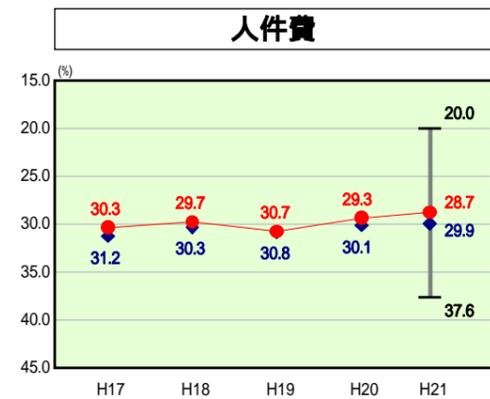
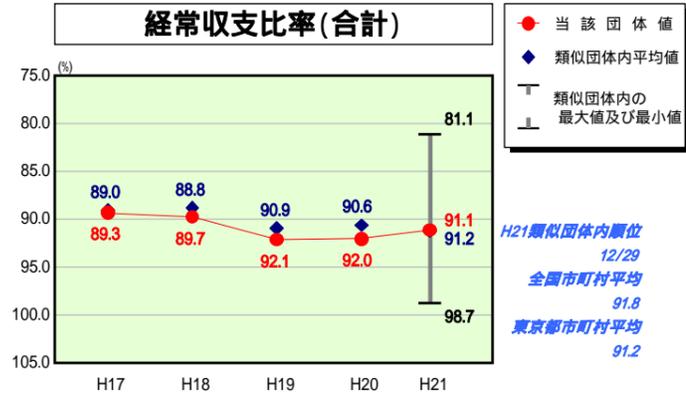


歳出比較分析表(平成21年度普通会計決算)

経常収支比率の分析

| | | |
|------|----|-----------------------|
| 人面標準 | 口積 | 191,614人(H22.3.31現在) |
| 歳入総額 | 規模 | 15.85 km ² |
| 歳出総額 | | 36,419,377千円 |
| 実収支 | | 64,889,347千円 |
| | | 63,644,385千円 |
| | | 1,013,841千円 |



- 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 当該団体の八角形が平均値の八角形より外側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

【人件費】
 人件費に係る経常収支比率は前年度から0.6ポイント減少しており、類似団体平均を1.2ポイント下回っている。これは、団塊の世代の大量退職の落ち着きに伴う退職金の減や、給料表を平成21年1月に0.5%、平成22年1月に0.35%それぞれマイナス改定したことによる人件費の減などが主な要因となっている。

【物件費】
 物件費に係る経常収支比率は、前年度から0.2ポイント減少したものの、類似団体平均より0.5ポイント上回っており、依然として高い水準となっている。これは、これまで第二次行財政改革大綱に基づき、保育園の民間委託やスポーツ施設等の指定管理者制度への移行などを推進してきたことや、平成19年度途中から家庭ごみの戸別収集・有料化を行ったことなどを要因としている。平成22年度から実施されている第三次行財政改革大綱においても、保育園・学校給食調理業務など民間委託を推進し、職員数の削減を進めていく予定であることから、高止まりする傾向は続くことが見込まれる。

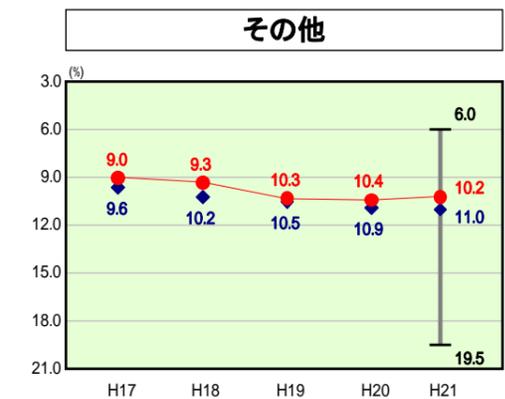
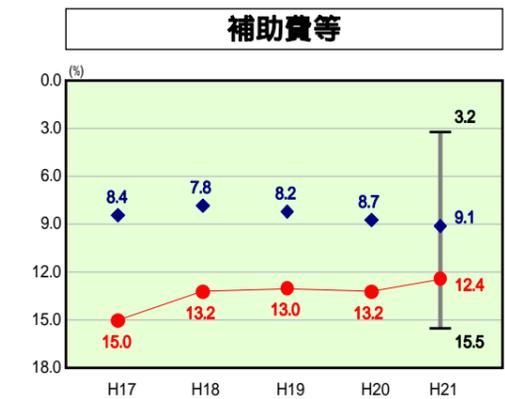
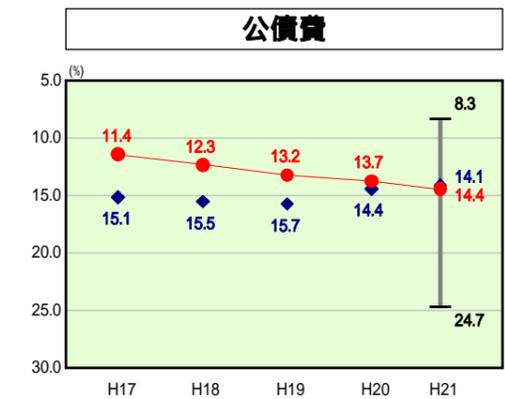
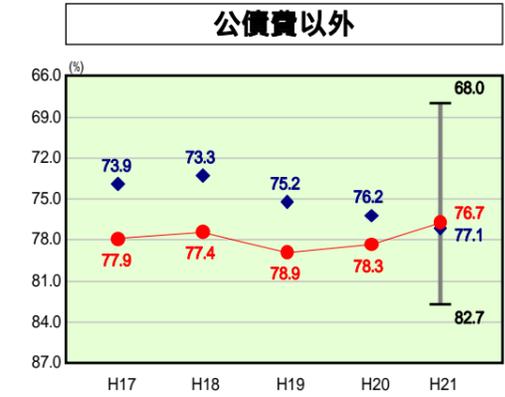
【扶助費】
 扶助費に係る経常収支比率は、前年度から0.2ポイント増加しており、類似団体平均を2.2ポイント下回っているものの、生活保護受給者の増などにより、年々増加傾向にある。生活保護受給者数は引き続き増加していることから、今後もこの傾向は続くものと見込んでいる。

【公債費】
 公債費に係る経常収支比率は、前年度から0.7ポイント増加しており、類似団体平均を0.3ポイント上回っている。これは、合併特例債・臨時財政対策債の元利償還金が年々増加しているためである。普通交付税の振替財源である臨時財政対策債については、従前は平成22年度までの制度とされていたものの、平成25年度まで延長されたことから今後もこの傾向は続き、公債費に係る負担は年々重くなっていく見込である。実質公債費比率は、合併特例債や臨時財政対策債等、普通交付税の基準財政需要額に算入される元利償還金の割合が高いものが多いことから、2.9%と比較的低い水準を保ってはいるが、市債残高そのものにも着目し、引き続き起債管理の徹底を図っていく。

【補助費等】
 補助費等に係る経常収支比率は、前年度から0.8ポイント減少したものの、類似団体平均を3.3ポイント上回っている。これは、他の団体と比較して、ごみ・尿処理などを一部事務組合による共同処理で行っていることや、消防事務を東京都に委託していることなどが主な要因と思われる。今後も、財政支援団体の見直しや行政評価を通じた補助金の見直しを行っていく。

【その他】
 その他に係る経常収支比率は、前年度から0.2ポイント減少しており、類似団体平均を0.8ポイント下回っている。これは、下水道事業に係る繰出金のうち、分流式下水道等に要する経費に係る影響の減により抑制できたことなどを要因としている。これまで下水道事業については、使用料の改定や公的資金補償金免除による繰上償還の実施等により、着実な改善を行ってきたところであり、引き続き、こうした取り組みを継続していく。また、国民健康保険事業に係る繰出金についても、医療費等の動向を踏まえ、保険料の見直しを毎年度、検討するなど改善を図っていく。

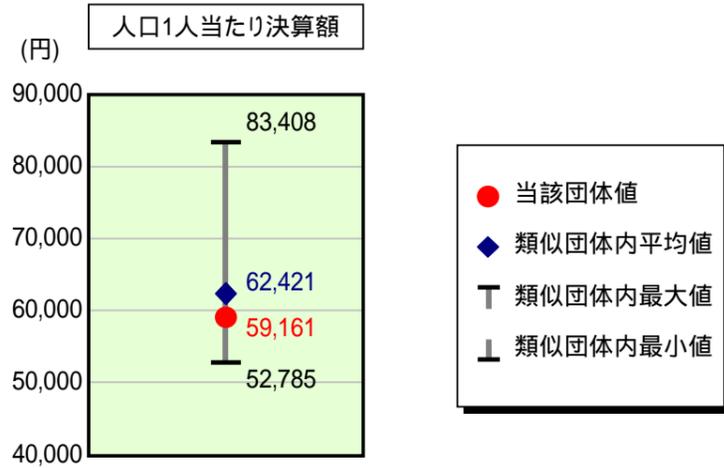
【普通建設事業費】
 普通建設事業費に係る人口1人当たり決算額は、保谷駅前公民館・図書館の整備終了などに伴い、前年度比6.1%の減となった。今後も、財政健全化への対応を図りつつ、市民ニーズに適切した施設整備を着実に推進していく。



歳出比較分析表(平成21年度普通会計決算)

東京都 西東京市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



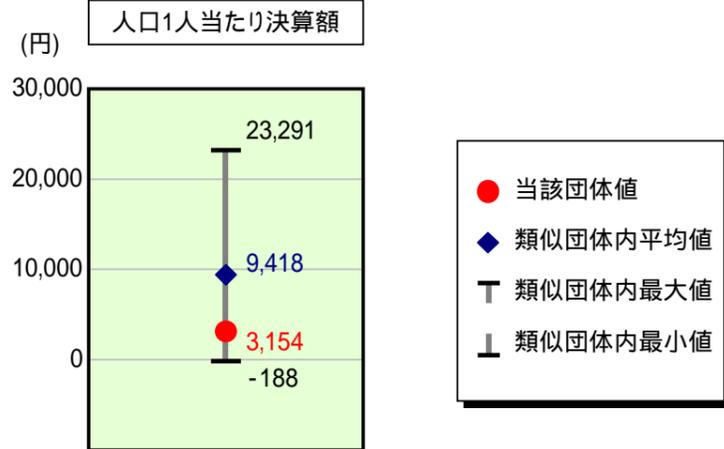
人件費及び人件費に準ずる費用

| 項目 | 当該団体決算額 (千円) | 人口1人当たり決算額 | | 対比(%) |
|-------------------------------|-----------------|------------|-----------|-------|
| | | 当該団体(円) | 類似団体平均(円) | |
| 人件費 | 11,092,649 | 57,891 | 61,823 | 6.4 |
| 賃金(物件費) | 366,036 | 1,910 | 3,049 | 37.4 |
| 一部事務組合負担金(補助費等) | 300,249 | 1,567 | 1,103 | 42.1 |
| 公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等) | - | - | 717 | - |
| 公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金) | - | - | - | - |
| 公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金) | 552,084 | 2,881 | 2,459 | 17.2 |
| 事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費) | 114,879 | 600 | 1,011 | 40.7 |
| 退職金 | 1,089,728 | 5,687 | 7,741 | 26.5 |
| 合計 | 11,336,169 | 59,161 | 62,421 | 5.2 |

参考

| 項目 | 当該団体 | 類似団体平均 | 対比(差引) |
|-------------------|------|--------|--------|
| 人口1,000人当たり職員数(人) | 5.24 | 5.89 | 0.65 |
| ラスパイレス指数 | 98.8 | 101.7 | 2.9 |

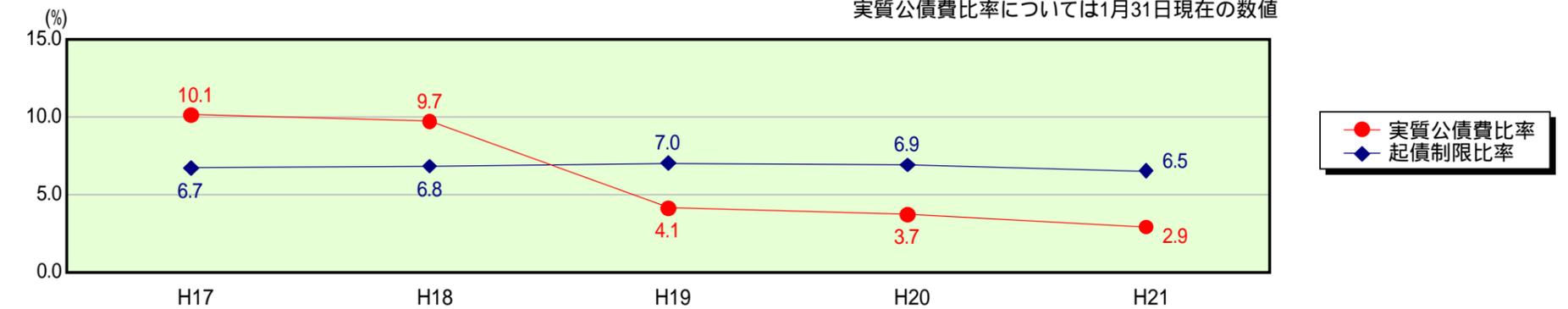
公債費及び公債費に準ずる費用の分析



公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

| 項目 | 1月31日現在の数値 当該団体決算額 (千円) | 人口1人当たり決算額 | | 対比(%) |
|--|-------------------------------|------------|-----------|-------|
| | | 当該団体(円) | 類似団体平均(円) | |
| 元利償還金の額 (繰上償還額等を除く) | 5,272,867 | 27,518 | 27,462 | 0.2 |
| 積立不足額を考慮して算定した額 | - | - | 8 | - |
| 満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額) | - | - | 77 | - |
| 公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金 | 1,465,166 | 7,646 | 6,800 | 12.4 |
| 一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額 | 670,449 | 3,499 | 1,488 | 135.1 |
| 債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額 | - | - | 2,610 | - |
| 一時借入金利息 (同一団体における会計間の現金運用に係る利息は除く) | - | - | 6 | - |
| 特定財源の額 | 1,925,799 | 10,050 | 8,800 | 14.2 |
| 地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額 | 4,878,306 | 25,459 | 20,233 | 25.8 |
| 合計 | 604,377 | 3,154 | 9,418 | 66.5 |

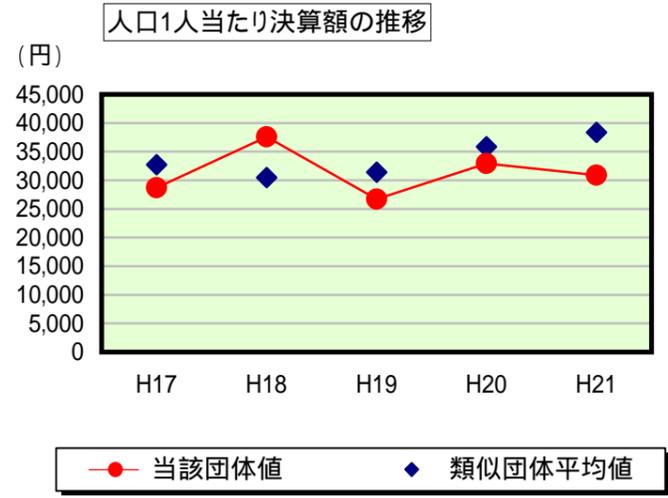
参考 実質公債費比率及び起債制限比率の推移



歳出比較分析表(平成21年度普通会計決算)

東京都 西東京市

普通建設事業費の分析



普通建設事業費

| | 当該団体決算額 (千円) | 人口1人当たり決算額 | | | | |
|---------|-----------------|------------|------------|-----------|------------|-----------|
| | | 当該団体(円) | 増減率(%) (A) | 類似団体平均(円) | 増減率(%) (B) | (A) - (B) |
| H17 | 5,409,991 | 28,703 | 16.6 | 32,735 | 3.1 | 19.7 |
| うち単独分 | 4,304,529 | 22,838 | 9.8 | 23,112 | 2.2 | 12.0 |
| H18 | 7,113,944 | 37,561 | 30.9 | 30,496 | 6.8 | 37.7 |
| うち単独分 | 5,882,996 | 31,062 | 36.0 | 20,327 | 12.1 | 48.1 |
| H19 | 5,073,210 | 26,715 | 28.9 | 31,404 | 3.0 | 31.9 |
| うち単独分 | 4,959,463 | 26,116 | 15.9 | 20,611 | 1.4 | 17.3 |
| H20 | 6,278,140 | 32,903 | 23.2 | 35,872 | 14.2 | 9.0 |
| うち単独分 | 4,786,142 | 25,084 | 4.0 | 21,259 | 3.1 | 7.1 |
| H21 | 5,921,866 | 30,905 | 6.1 | 38,349 | 6.9 | 13.0 |
| うち単独分 | 5,312,261 | 27,724 | 10.5 | 22,585 | 6.2 | 4.3 |
| 過去5年間平均 | 5,959,430 | 31,357 | 0.5 | 33,771 | 4.1 | 3.6 |
| うち単独分 | 5,049,078 | 26,565 | 3.4 | 21,579 | 0.2 | 3.2 |